

松ぼっくりを水やりの目安に

プランターの水やりのタイミングって結構むずかしいですよね？土質やプランターの構造によって土が乾きやすかったり、乾きにくかったりします。そこで私は土の上に置いた松ぼっくりの傘の開き具合を目安に、水やりをしています。

松ぼっくりは乾燥すると傘が開き、水を含むと傘が閉じます。この性質を目安に、水やりのタイミングが一目で分かるようになります。

用意するもの

松ぼっくり ※木に着いているもの、落下したものどちらでもよい
雨上がりに、傘が閉じている松ぼっくりを選ぶとよい



底部が出っ張っているものを選ぶ



底部が内側にへこんだものは不適



雨上がりに閉じた状態の松ぼっくり

松ぼっくりの置き方と水やりの目安

- ①土の上に松ぼっくりを少し押しつけるように置きます。
- ②水やりは松ぼっくりを置いた状態で上からかけます（写真1）。
- ③松ぼっくりの傘の下方部が閉じていれば水分は足りています（写真2）。
- ④写真3のように松ぼっくりの傘が完全に開いた状態で水やりします。

※松ぼっくりが水分を吸収するまでに15分くらい時間がかかります。
松ぼっくりを置いてすぐに水分の判定はできません。



松ぼっくりに水がかかっても問題ありません



水分が足りている時は、傘は閉じた状態です



土が乾いて完全に傘が開いている状態

コツ・ワザ・アイディア 大募集！

このコーナーでは、菜園やプランター栽培をされている方々から、おいしい野菜を育てるコツ、たくさん獲るコツ、病虫害対策、簡単作業など、家庭菜園から生まれる様々なワザやアイディアを募集しています。
技術普及課（0569-89-7643）までご一報ください。



ペットボトルで作る虫取り吸引器

アブラナ科の野菜全般を加害する「ダイコンサルハムシ(幼虫や成虫)」は、指で捕獲しようすると、振動ですぐに葉の付け根に落ち込んでしまいます。また、落ちた幼虫や成虫を無理につまもうとすると葉を痛めてしまいます。そこでペットボトルとストローを利用して「虫取り吸引器」を作りました。これなら虫に触れずに簡単に捕獲することができます。

用意するもの

ペットボトル、蓋、ストロー（直径 6mm）

※私の経験では伊右衛門や爽健美茶のボトルが一番使いやすいです。自動販売機のボトルや炭酸飲料のボトルは規格が異なるため不適です。またストローの直径が大きくなれば吸引できる虫も大きくなりますが、吸引力は弱くなります。

作り方

- ①ペットボトルの蓋に直径 6 mm の穴をあけます（写真 1）。
キリ、熱した釘などでも可。
- ②あけた穴をヤスリで削ってなめらかにします。
- ③ストローを穴に差し込み完成です（写真 2～4）。
※ストローとキャップにすき間ができると吸引力が低下します。

使い方

- ①ねらいをさだめ、ボトルを指で押さえ、離れた時に戻る反動（空気を吸い込む）で一気に吸い込みます（写真 5）。
- ②奥深いところの虫を捕るときはストローを引き出して使います。また、他の虫も捕獲できます（写真 6）。

使用上の注意

- ①夜露などの水滴がついていると虫がストローの途中で止まってしまうことがあります。
- ②ボトルの中に入りきらずストローの途中で止まってしまった虫は次にボトルを押えた時に飛び出してしまうことがあります。
- ③虫を捨てたあとは、容器をキレイに洗って乾かします。



くぼ しげひろ
久保 繁弘さん

（奈良県生駒市）

自然農法歴 17 年

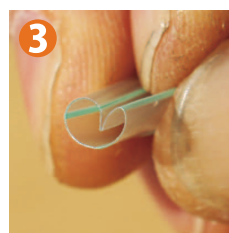
栽培面積（畑） 7 a



ダイコンサルハムシの
幼虫（左）と成虫（右）



ドリルで穴を開けて、
ストローを差し込むだけ



ストローが差し込みにくい場合は、写真のように先端を少しつぶすと、入りやすくなります。

完成



※製作費が安価で誰にでも簡単に作れるこの吸引器なら、畑に備え付けておくことも可能です。